



『全てを子供たちのために』

杉小だより

令和3年 1月 6日発行 第15号 文責校長

塩竈市立学校の取組
「挨拶」「くつならべ」
「美しい言葉」
杉小プラスワン
「きれいな黒板」

しおかほ「ふれあい」運動

ふんばから「早ね・早あき・朝ごはん」

みんなで時間を決めよう「テレビやゲーム」

あどむかしく語り合おう「夢タイム」

いっしょに取り組む「体力づくり」

地域と共に創る学校を目指して

校長 秋山 治美



新年、明けましておめでとうございます。新型コロナウイルスの影響、そして、厳しい寒さの襲来によって、例年とは違った年末・年始を過ごされたことと思います。落ち着いた社会状況とは言えませんが、学校では、子供たちの様子をしっかりと把握し、その変化に丁寧に対応しながら、本校の教育目標である「心豊かにたくましく進んで学び続ける子供」を育てることに、全職員一丸となり取り組んでまいります。

本年もどうぞよろしくお祈りします。

さて、「コミュニティスクール」という言葉を耳にされたことがありますか。これは、保護者や地域のニーズを反映させるために、地域住民が学校運営に参画できるようにする「学校運営協議会」という話し合いの場を置く学校のことです。「学校運営協議会」のメンバーは、地域の方や保護者の代表、教育委員会の担当などの方々や、学校代表となります。文部科学省では、近年中に全国全ての学校をこの形態に移行することとしています。宮城県でも、既にいくつかの学校が「コミュニティスクール」へと移行し、塩竈市でも、次年度から数校ずつ取組を始めます。そして、その一校が本校です。

簡単に言うと、「学校運営協議会」という学校の運営について話し合う場に、地域や保護者などに入っていたり、知恵を絞り合いながら、地域と共にあるより良い学校を創っていくということになります。主なメリットは、以下の通りです。



□子供にとっての魅力

- ・多くの大人の専門性や地域の力を生かした教育活動等が実施されることにより、学びが充実する。
- ・地域の人々に支えられ学んでいくことにより、地域への愛着が芽生え、地域の担い手としての自覚が育まれる。
- ・学校と地域の人々との関係の深まりが、子供たちの命や安全を守ることにつながる。

□保護者にとっての魅力

- ・学校への関わりを通して学校や地域への理解が深まることにより、子供が地域の中で育てられているとの安心感が生まれる。
- ・保護者が学校に関わることにより、保護者同士のつながりや地域の人々とのつながりが生まれる。

□地域の人々にとっての魅力

- ・子供たちと触れ合い、培ってきたことを生かす機会が得られ、生きがいにつながる。
- ・地域のネットワークが形成されることにより、地域づくりの輪が広がっていく。



□教職員にとっての魅力

- ・地域の人々との交わりで得られる多様な経験を通じ、教師としての意欲が高まり、豊かな指導力の発揮につながる。
- ・教育や子供の成長に対する責任を分かち合い、学校がやるべきこと、家庭がやるべきこと、地域がやるべきことの役割分担が図られることにより、教職員が子供と向き合う時間の確保につながる。

「コミュニティスクール」への移行は、来年が試行期間となりますが、まずは、私たち教職員が取組の内容や進め方、利点などについて、理解を深めることが必要と考え、11月より、「松島自然の家」所長の成瀬 啓先生をお迎えして研修会を2回実施しました。2回目の研修会には、PTAの本部役員さんや学校評議員の皆様にも加わっていただきました。そして、「ワールドカフェ」という、グループごとにメンバーを入れ替えながら、テーマについて話し合う取組をしました。今回のテーマは、「杉小の良いところと課題」そして、「課題を解決するための提案」でした。(裏面へ続く)
話し合せて挙げられた内容を一部ですが、紹介します。

□杉小の良いところ

- ・素直 ・人懐っこい ・気が利く ・好奇心旺盛 ・働き者 ・外遊びが好き ・杉小しぐさを意識
- ・団結力が強い ・優しい ・明るい ・仲間意識が強い ・地域の関わりが強い ・地域活動に参加

□杉小の課題

- ・粘り強さに欠ける ・自信がない ・諦めがはやい ・言葉が荒い ・時間にルーズ
- ・成功体験が少ない ・偏食が多い ・忘れ物が多い



□課題を克服していくための提案 《それぞれの立場から》

- 《学校》・小さな成功体験を継続させ、自信を持たせる ・良さを見付け褒める
- ・保護者と話す場を増やす ・地域との関係性を深める ・ゆとりを持って子供と向き合う

《家庭》・失敗体験も含めた様々な体験をさせる ・家族の一員として仕事をさせ、褒める

《地域》・子供に積極的に声を掛ける ・交流や活躍の場を提供する

《あるグループの話合いの足跡》→

どんなことができるのか、また、どんなことをしていかなければならないのか、まだまだ手探りの状態ですが、保護者の皆様や地域の方の力を大いに借りながら、子供たちの成長にとって良いと思ったことはどんどん推し進めたいと思っております。



二色のクリアファイルをお配りします！

PTAの会計から購入し、毎年、子供たちに配付してきたクリアファイルを今年度は2枚ずつお配りします。

色は、スカイブルーとペパーミントグリーンで、どちらにも、これまで同様「杉小しぐさ」「杉の子憲章」がプリントされています。

学校からの配布物や宿題、家庭からの提出物等を明確に区別するために、2色のクリアファイルを使い分けたいと思います。

学校から家庭へ ⇒ スカイブルー 家庭から学校へ ⇒ ペパーミントグリーン

明日(1/7)配付します。早速、来週から使用しますので、記名のご協力をお願いします。

